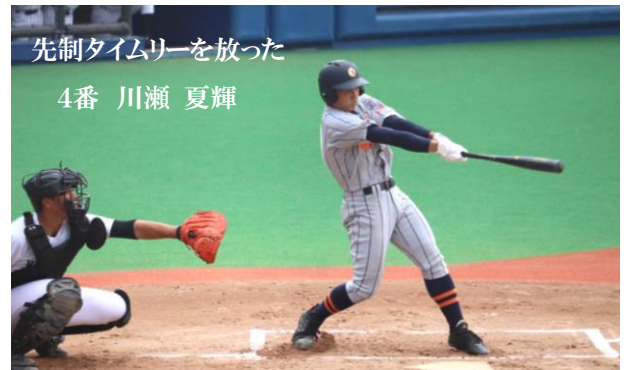


第103回 全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 2回戦

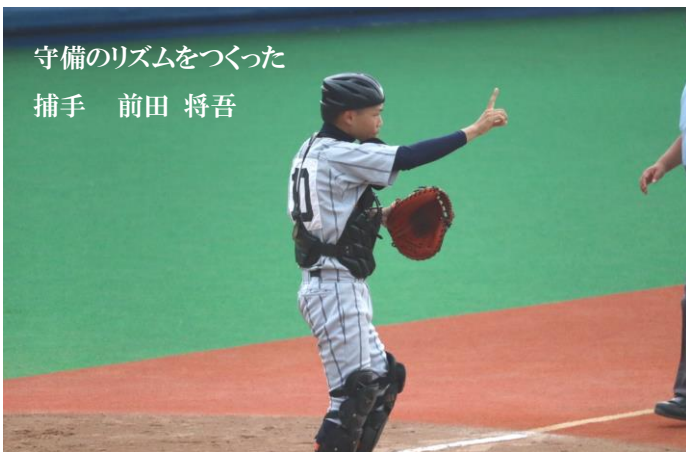
球場 大田スタジアム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計
プレイボール 15:01	南葛飾	0	0	0	0	0										0
ゲームセット 16:15	大崎	6	2	4	1	X										13

先攻	南葛飾	後攻	大崎	備考 【二回戦】5回コールド
投手		投手	川瀬 高橋(悠)	
捕手		捕手	松崎 前田	
本塁打		本塁打		
三塁打		三塁打	江里口 小泉 松崎	
二塁打		二塁打	竹内	

初回、都立大崎は、相手打者の振り逃げでランナーを許したものの後続を押さえ、上々の立ち上がりを見せる。裏の攻撃で先頭打者の山中悠大が相手エラーで出塁すると、2番の小泉太陽はフォアボール、その後ダブルスチールで1死ランナー2・3塁とチャンスをつくり、4番川瀬夏輝のライト方向への2点タイムリーで先制。これをきっかけに打者一巡の猛攻で一挙に6点を奪う。



先制タイムリーを放った
4番 川瀬 夏輝



守備のリズムをつくった
捕手 前田 将吾

2回の攻撃もフォアボールのランナーが盗塁し1死2塁とすると、5番 松崎叶夢のタイムリースリーベースと6番 竹内翼のツーベースヒットで2点を追加。

3回もエースの川瀬夏輝が三者連続三振で守備からリズムをつくると、その裏もフォアボールなどで塁を埋め、公式戦初出場の、ピンチヒッター蜷川剛生がライト前タイムリーを放ち、この回に4点を追加。試合を一方的な展開とする。



副主将 小泉 太陽



抑えとして登板した
高橋 悠



代打で期待に応えた
蜷川 剛生



4回・5回入っても都立大崎の勢いは止まらず今年のチームが取り組んできた守備のリズムから1点にこだわる野球を貫いた。結局、終わってみれば川瀬夏輝・高橋悠が圧巻のノーヒットノーラン投手リレーで、都立南葛飾を13対0で圧倒した。